

雑感

不揃いが総持ちで支え合う

私たちの学校も外部との交流が増え、多くの方との出会いからエネルギーを頂き、様々な活動が展開しています。

子どもたちも内外の活動を通して楽しみながら、その中で失敗し、修正し、成功し、感覚を磨き、自分を知り、自分なりに変えていく事を学んでいます。これらが機能するためには、違った子どもたちがそれぞれの持ち味で存在できる環境が必要です。そういう共同の活動の場は小さな社会でもあります。持ち前の力を発揮して活躍してくれる子、その側で静かに手伝ってくれている子、問題を抱えていて今は少ししか協力できない子、誰もがそれぞれの特性を生かして全体の一部を受け持ってくれています。大人はつつい凸は削り、凹は埋めて均一にしようと考えがちですが、子どもたちにはすぐには変えられない各々の事情があったりします。そんな子

どもたちが無理なく活躍できる場、受け入れ合って安心して過ごせる場、みんなでなんとか相談しながらやって行く場が“共同で学ぶ”学校です。

学校創りに仲間入りした頃読んだ大工の棟梁小川三夫さんの本の中に、「法隆寺や薬師寺の塔は材の違った何本もの不揃いの木が総持ちで(それぞれがみな各所を支えて)建っている。…不揃いこそ社会の形としては安定感があるし強い。不揃いを扱うのは木でも人間でも大変、画一化されたものは楽、それぞれの癖を生かして組む。急いだら人は育たない、不揃いの中で育つのが一番いい。」とありました。これはまた、私たち大人にとっても同じだと思います。子どもと大人の不揃いたちが総持ちで、持続可能な社会づくりの一部を受け持って、これからも進んでいきたいと思っています。(平嶋)

こんな学校に出会いたかった！！

♪♪ 箕面こどもの森学園生徒募集 ♪♪

9 月から来年度の小学部 1 年生と中学部 1 年生の入学募集を始めました。

それ以外の学年生は、随時、入学を受け付けています。

募集人数：小学部・中学部 各 10 名程度

対象年齢：小学部 6～11 歳 (小学 5 年生まで)
中学部 11～12 歳 (現在小学 6 年生)

場 所：箕面市小野原西 6 丁目 15-31

見 学：月・水・木曜日の午前中 (ご相談の上で見学日を決めます)

体験入学：見学の後、学校の平常の授業を 5 日間体験していただきます。

入学面接：ご相談の上で日程を決めます。

※※見学、入学ご希望の方は学園事務局へご連絡ください。

TEL&FAX 072-735-7676

メール info@kodomonono-mori.com



アクセス：阪急北千里駅から北へ徒歩 15 分

《編集後記》

こどもの森は、いよいよ来年度の中学部開設をめざして動き始めました。また、同じ思いを持つ人々とのつながりを求めて、活動の輪を海外へも広げています。

子どもたちの日々の元気な様子や刺激し合いながら一人一人が生み出す豊かな世界、その子どもたちを見守りつつ、学園をさらに充実、発展させることを目指す大人たちの未来へ向かう思いの一端をご覧いただき、これまで同様、力強いご支援をお願いできればと思います。(沼尾)



テーマ「わたしの将来」

「社会にはどんな仕事をして生きている人がいるのだろうか?」「なぜその仕事をしているのだろうか?」「自分はどんな風に生きていくのだろうか?」そんな問いをテーマに、たくさんの方からお話を聞きました。子どもたちのリクエストでパン屋さんや幼稚園、電車工場、空港、警察にでかけて行き、また、建築家、画家、イベント主催をされている方が学校に来てお話をしてくださいました。



阪急電鉄工場の見学

「話聴くのがめっちゃ楽しみやねん!」ときらきらした表情が印象的。とても驚いたのは、お話をしてくださった方たちに、子どもたちがどんどん質問をぶつけていたこと。「一番楽しい時はどういう時ですか?」「何に気を付けていますか?」「これからどうしていきたいですか?」

ひとつひとつ丁寧に答えていただいたことを、高学年の子どもたちはそれぞれ記事にまとめました。低学年の子どもたちはお仕事カルタを作りました。みんなの家族や親せきへのインタビュー、お仕事調べも合わせて、「生き方図鑑」ができあがりました。(中尾)

体 育 祭

ー子どもも大人も素敵な表情にー

晴天の 5 月、今年も体育祭が開催されました。今年は、リレー、二人三脚、借り物競争、ダンス、おんぶ合戦、宝探し、障害物競争、玉入れ、パン食い競争、とバラエティーに富んだ種目。それぞれに担当者を決めて準備を進めてきました。

こどもの森の体育祭の特徴は、なんといつでも、子どもたちが主体となって作り上げ

ること。そこにスタッフや保護者が参加します。二人三脚では、子どもとスタッフペアや、親子ペア、お父さんおじいちゃんペア、など多様な組み合わせで息を合わせて走り、ダンスでは振り付けから考え、女の子一同でアナと雪の女王の世界を作り出しました。最後に行った障害物競走の飴食いでは、片栗粉に隠れた飴を口で取るため、参加者は顔が真っ白に。子どもも大人も素敵な表情に変わって、とても盛り上がりました。

新年度を迎えて少しフワフワしていた雰囲気、この体育祭で一つにまとまり、繋がりを深めるひと時になりました。(藤丸)



夏の思い出～手作りの夏祭り～

かつて、子どもたちが「やってみよう!」ということで始まった夏祭りが、今年も開催されました。

開始前から始まりの合図を待つお客さんが来始めていました。オープンになっているイベントで、卒業生や近所の人参加してくれ

ます。恒例の「1 円玉落とし」などに加えて、新しいお店も登場しました。「マッサージ」では、どこをほぐすのか担当を決めて予約を取り、一人一人が個室で



を行いました。朝から予約がたくさん入り、すぐに埋まっていました。

「おぼけたいじ」は、暗室の中にいるおぼけに球を当てる、というゲーム。普通のおぼ

発行日：2014 年 9 月 10 日
発行者：NPO 法人箕面こどもの森学園
562-0032 大阪府箕面市小野原西 6-15-31
tel&fax 072-735-7676
e-mail info@kodomonono-mori.com
URL http://kodomonono-mori.com/

け屋敷とは違い、自分で積極的に動けるので楽しめました。

「レゴ & LaQ (ラキュー)」は 1 年生が担当していて、いろんな年代の人が思い思いに組み立てていました。お店を運営するという体験を積んだ貴重な時間でした。



終了後はみんなでカレーを食べたり、花火をしたりして夏を満喫。大きな家族のような雰囲気でした。(佐野)

フレネ学校の先生たちが 来校されました

8 月 1 日、セレスタン・フレネがヴァンスに創った学校エコール・フレネの先生たち (校長のオレリア・ルヴェさん、元教員のミレーユ・ルナルさん、フレネ教育研究所所長でナンシー大学准教授のアンリ・ゴーさん) が、本学園を訪問されました。2 日、3 日に尼崎市で開かれるフレネ教育研究会夏季全国集会にゲストとして招待された方たちです。(3 頁別記事参照)

あいにく夏休み中で子どもたちの様子が見られないので、子どもたちの活動を撮った DVD を見ていただきました。そのあと校内を案内しましたが、日本でフレネ教育がどうなされているか興味津々のようで、日本人に合うように変えたところがあるかなど熱心に質問されました。短い時間でしたが、中身の濃い交流の時間でした。(辻)



各種イベントのお知らせ (9月～12月)

オープンスクールと無料体験入学

こどもは自分が認められ、自分のことを自分で決められる学びの場で、自己の可能性を最大限に発揮させます。一斉授業とも詰め込み授業とも違う、こどもたちの可能性を拓く新しい教育にふれる貴重な機会です。

<オープンスクール>

【実施日】11 月 15 日 (土) 9:30～11:20

【対象・定員】

授業参観コース：定員 30 名 (大人対象)

授業体験コース：定員 15 名
(年長児から小学校 5 年生までの方)

<無料体験入学>

【実施日】11 月 21 日 (金)～28 日 (金)

の中から 1 日

【対 象】年長児から小学校 5 年生までの方

【参加費】無料ですが、事前の申込みが必要です

お申し込みは、いずれも 3 日前までに電話または FAX で箕面こどもの森学園事務局まで

第 23 回 教育カフェ・マラソン

【実施日】9 月 19 日 (金) 18:30～20:30

【話題提供者】磯井 純充さん
(まちライブラリー提唱者)

【場 所】箕面こどもの森学園

【参加費】500 円

【申 込】kyouikucafemarason@gmail.com まで

子育てカフェ

「子育てハッピーアドバイス」

子どものこと、自分のことなどゆるりとお話しましょう。お友だちと一緒にお気軽にお越しください。(保育あり)

【日 時】第 3 回 9 月 26 日 (金) 10:40～12:00

第 4 回 11 月 14 日 (金) 10:40～12:00

* 1 回だけの参加可

【場 所】箕面こどもの森学園

【講 師】守安あゆみ (子育てハッピーアドバイザー)

【参加費】各回 500 円

【定 員】10 名 (3 名以上で開きます)

【申 込】電話、FAX またはメールで箕面こどもの森学園事務局まで

ベジタブル・ワンダフル

「はたけあそびと子育てトーク」

箕面こどもの森学園と四条畷のコミュニティ農園グリーンガーデンさんとのコラボ企画です。親子で楽しんでいただけるだけでなく、子育てのヒントもたくさんあります。

【日 時】9 月 28 日 (日) 10:00～12:00

【場 所】Green Garden (四条畷駅徒歩 6 分)

【対 象】3 歳から小学校 3 年までの親子

【参加費】大人 1000 円、こども 500 円

【申 込】電話、FAX またはメールで箕面こどもの森学園事務局まで

自由作文の紹介

かなでのこと

ひびき（6 年）

①かなでとは？
ひーこの家にいる天才でカワイイかがやく犬のこと。そしてその名は「かなで」。
②なぜ天才でカワイくてかがやいているのか？
それはもうことばではあらわせない。とりあえずカワイイ。
③かなでのわざ
かなでがわるいことをしてひーこがおころうとすると「コテン」としてあまえておこられないようにしようとする。それを見るとおこれなくなる。
④かなでのあまえかた（あそびかた）
かなではあまえる時、ひざの上で「コテン」とします。それはカワイイけど、あしが顔にあたるのでごくいたい。
かなでがハッスルするとジャンプしてカワイイ顔でとびついてくるがぶっとばされる。
かなでを朝起こす時も、ゲージから出するととびついてくる。立っている時はいいが、すわっている時はこける。

小さい竹とみ島でまいご！！

みずき（5 年）

竹とみ島に泊まるのは、最後の時でした。わたしとパパとママと弟はるきと水牛に乗り終わった時でした。その日も暑かったので、パーラー（かき氷・アイスが売っているところ）に行くことになりました。自転車で行きました。
そしてある交差点に出たときです。パパとママの姿が見えなくなりました。どっちに行ったかも分かりませんでした。そしてわたしはすごくドキドキしました。そして、赤いおんなの人が見たのでその人について行きました。（ママかと思った）いつのまにか、泊まっていた宿に着きました。わたしは泣きそうになりながら、地図をもらって、ココだと思うパーラーに向かって行きました。そしてしばらくすると、「みずきー」という声が聞こえました。そして後ろを向くと、ママがいました。そしてほっとしてなみだが生じました。勝手に出ていました。すごくこわかったです。でもよかったです。



のはら

みなと（1 年）

のはらがごはんといってるところです。



（スタッフ注「のはら」はペットの猫です）

ぐんまのかんらへいった

こうへい（1 年）

ぐんまへいきました。どのようにしゅっぱつして、よなかじゅうはしってつきました。こうそくでひるねしたので、よなかずーとおきていました。
いっしゅうきのおきょうをよむのがおわると、おいしいさかなのおみせで、おさかなのおりょうりをたべました。おともりも1かいしました。おさかなのおりょうり、おいしかった。
ぜんぶたのしかったです。

カルピス片手に
ママ・パパトーク！

カルピスが自分で濃さを選んで作れるように、子育ても教育もいろいろあっていい！！
6 月 14 日（土）、アサヒラボガーデンで、「ママ・パパトーク」を開催しました。パネリストとして登壇したのは、関西フューチャーセンターの成松秀夫さん、NPO いきはぐの征矢理沙さん、箕面こどもの森学園の保護者で理事の辻岡拓郎さん、副代表の守安あゆみさんでした。
4 人がどんな思いで子育てやお子さんの教育に関わっているのかというお話を聞いた後、紙に自分が感じたキーワードを書き、近いキーワードを書いた人同士が集まってグループを作り、「こんな学校あったらいいな」というテーマで、アサヒさんから提供いただいたカルピスを飲みながら意見交換をしました。新しい方もたくさん参加してくださり、とても有意義な会になりました。（藤田）

NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 4 月～8 月

市民が創る” 中学部” 開設へ！

「こどもの森の中学部をつくってほしい」という保護者の方の声から、中学部開設への動きは始まりました。こどもの森は「市民がつくる市民のための学校」です。だから、大切なのは「一緒につくりましょう！」ということです。

今年の初め頃から、保護者の方々と一緒に会議を定期的に開き、どのようにして中学部をつくっていくのかを話し合っていていきます。どのような理念で中学部をつくっていくのか、実際に中学部で学ぶことになる今の 6 年生は、これからどのような準備をしていけばいいのか、外部から入学を希望される方にどのように情報を届けるのか、開設するための資金はどのようにして集めるのか、スタッフ・保護者・子ども、それぞれの立場から協力して進めてきました。

お陰さまでたくさんのご支援も集まり、外部説明会にも熱心な方々が参加してくれています。これからも、2015 年度開設に向けて様々な取り組みをしていきます。今後ともご支援をよろしくお願いします。（佐野）

「子育てカフェ」はじめました

今年度より 2 ヶ月に 1 度、子育てカフェを開いています。
明橋大二さんの著書「子育てハッピーアドバイス」をもとに自己肯定感を育むことの大切さをお伝えしつつ、参加者同士でお茶を飲みながらゆったり語り合っています。

これからも、日頃の悩みや子育ての疑問などを安心して話せる場所であり続けたいと思います。子育て中のパパママ、ぜひご参加ください。（守安）

会員研修会報告
子どもとのコミュニケーション

7 月 19 日（土）、会員研修会を行いました。この日のテーマは、コモンセンスペアレンティング。ご自身もこどもの森の会員である森岡保紀さんを講師に迎え、子どもの発達段階に合わせた具体的な援助方法について、ワークも交えながらお話を伺いました。

途中映像も見ながらの講座でわかりやすく、また自分たちの体験も話しながら和気あいあいとした雰囲気でした。当日は、お母さんだけでなく、お父さんの参加があったのが良かったと、講師の方もおっしゃっていて、新しい発見や自身を振り返る機会となった時間でした。（福田）

「こどもの森講座（第 2 回）」報告

6 月 29 日（日）、こどもの森講座第 2 回『こどもが輝く学校の秘密・世界とつながる学び～イェナプラン教育～』を行いました。

当日は公立や私立学校の教員の方、教育を学ぶ大学生、子育て中の方々など 29 名の方に参加いただきました。前半はイェナプランのコンセプトや特徴（子どもたちの自主性や協働をはぐくむこと・子どもと大人はともに学びあう対等の関係など）を紹介し、ビデオで実際の学校の様子を見ました。後半は本物から広がる学びを体験するワークショップを行い、またグループディスカッションでは、イェナプランや教育について日ごろ感じることなどを話し合いました。参加された方から「子どもも大人もワクワクする学びを大切にしていきたい」と感想がありました。

さまざまな意見にふれ、こどもの森が大切にしている「子どもが学びの主人公」は、私たちスタッフを含め大人もともに学びあう「子どもも、大人も学びの主人公」であることを、あらためて感じた一日でした。（高原）

フレネ研全国集会で本学園が活躍！

8 月 2、3 日にフレネ教育研究会全国集会在尼崎で開かれ、辻学園長と守安副代表が記念講演をしました。まず、辻さんが 10 年間の実践を振り返り、その実践の中から見えてきた確信を整理して報告。続いて守安さんがパワーポイントを使って、豊富な実践例をいきいきと伝え、多くの参加者から共感の拍手を得ました。

この研究会には、フランスのフレネ学校から 3 名の方が招かれ（1 頁別記事参照）、芳仲さんが通訳の一人を務めました。（松崎）

韓国で開催された IDEC に参加

7 月末、韓国で開催された IDEC（国際デモクラティック教育会議）に、箕面こどもの森学園のスタッフ 5 名（佐野・高原・中尾・藤田・藤丸）で参加しました。約 1 週間の日程で、開催国の韓国を中心に世界各国から多くの人が集まり、たくさんの講演やワークショップ、視察ツアーなどがありました。どの内容も「子どもたちの自主性や市民性を育む民主的な教育」に関わることで、参考になることがたくさんありました。

箕面こどもの森学園も、学校の理念や教育方法を紹介する分科会を担当しました。急遽、お茶やお菓子も準備して、まるで「出張教育カフェマラソン」といった感じで、日頃のチームワークを韓国でも発揮できました。

中学部の提携先を探すことも今回の目的の一つだったのですが、同じような教育理念をもついろいろな国の人とつながることができ、提携できる学校もいくつか見つかりそうです。（藤田）



「教育カフェマラソン」にご注目！

4 月以降、教育カフェマラソンで話題提供をしてくださったのは、以下の方々です。
第 19 回・4 月 4 日（金）石井美保さん（京都大学人文科学研究所准教授）
第 20 回・5 月 16 日（金）田村太郎さん（ダイバーシティ研究所代表理事）
第 21 回・6 月 6 日（金）宇都宮誠さん（生野学園理事長）
第 22 回・7 月 18 日（金）中塚貴志さん（cafe303 / mobile bar project）
職場と家の往復に疲れているアナタ、最近気持ちのやりとりをする機会がないアナタ、僕らには「教育カフェマラソン」があるじゃないか！（そこまで言う…笑）
生活の潤い&アクセントとして、お気軽にご参加を～♪（西江）